



いのぼ～の彼女

伊野-INO-

～やって未来こい！

いのぼ～の ENO暮らし2030～



いのぼ～

発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5
Tel : (0853) 69-1526 Fax : (0853) 69-1530
E-mail : ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp
ホームページ、Facebook等随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。フォローよろしくお願いします。Facebookの登録等、お問合せはコミセンまで。

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区自治協会
Instagram



一伊野地区の人口一
(R3.5月末現在)

男性… 588人
女性… 646人
合計… 1,234人
世帯数… 419世帯

「伊野いち」は い～の～

6/18



お待たせしました、1年ぶりの伊野いち。5・6年生は初めての伊野いち。雨の降る中、開店を待つお客様へ感謝の気持ちを込めて「いいぞ、伊野いち」と「ふるさと伊野」の2曲を熱唱。また、野菜や魚、しじみにメダカ、ちまきやしぼなどたくさんの伊野の産物が並べられ、来場の皆さんに大好評。活気に満ち溢れ、出品者とスタッフ、お客様が一体となった産直市となりました。次回は10月に開催予定です。



耕作放棄地復活プロジェクト始動！ ～農水部会～



詳しくはこちらをご覧ください。

伊野地区自治協会ホームページ 検索

「伊野やって未来こい！」ネット事務局長 前伊野地区自治協会会長 多久和 祥司

「伊野ではどうしていろいろな活動が生まれるの？」と訊かれることがよくあるがなかなかうまく説明ができない。こんな説明でどうか。人はだれも「やる気ウィルス」を持っていないと仮定しよう。人と人が接触すると「やる気ウィルス」が強力な変異株に変化することがある。すると「産直市を始めよう」「国際ワークキャンプをやりたい」など、熱の高い人が現れる。こうして、たくさんの方々が「やる気ウィルス」を生み出すためには「密」が欠かせない。「密」の場所(広場)をうまく演出したのが自治協会やコミセンだったと考えれば、ガッテンできるような気がする。

「やる気ウィルス」は人によって性質が異なる。スポーツ分野で感染力を発揮するもの、情報分野で力を発揮するものなど、型が異なるのでクラスターを発生させるためには、その見極めが大切だ。

伊野ベージョンに始まり、最近では、空き家活用プロジェクトや「よっ得!?伊野いち」など、毎年、新しい取組が生まれていく。すると、伊野の気温が上がる。気温が上がると「やる気ウィルス」の種は発芽しやすくなるという特徴を持っている。もうひとつの特徴は、「希望」をもつ人に感染しやすいことだ。伊野の元気の正体は、実は「希望」なのかもしれない。

私も、熱の高い人と濃厚接触し、体内の「やる気ウィルス」がどんどん変異するのを感じたし、「希望」もふくらんでいった。

自治協会会長として存分に楽しませていただいた9年間でした。ご支援に厚くお礼申し上げます。

「なんて伊野は元気なの。」



誰もが住んで良かったと思える伊野を目指して

伊野地区自治協会長
前伊野コミュニティセンター長
錦織 宏

平成28年度より5年間伊野コミュニティセンターにお世話になりました。
在職中に賜りました皆様からのご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、平成24年度より9年間に亘ってご指導頂きました多久和前自治会長の後任として本年4月より伊野地区自治会長を務めさせていただくことになりました。
微力ではありますが、子どもからお年寄りまでが住んで良かったと思える伊野、そして、これから生まれてくる人たちにも喜んでもらえる伊野になるよう皆さんと一緒にまちづくりを進めたいと考えています。
引き続き、ご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地域に愛される
児童館をめざして

伊野児童館長
山崎 功

山崎啓子伊野児童館長の後任として、令和3年4月から伊野児童館長に就任しました。山崎功と申します。何分にも、児童福祉の識見もなく、不安ではありますが、子供たちにとって楽しく安心して居場所となるように、また保護者の皆様も安心して子供たちを預けていただけるような児童館になるように、児童館スタッフともども精一杯努めてまいりますので、どうかよろしくお願ひします。

また、地域や小・中学校との連携があつてこそ児童館の役割が果たせるものと思つており、今まで以上に、地域（学校）とのつながりや住民のニーズを踏まえた取組みが必要となつてきます。今後とも、関係者の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願ひしまして、就任の挨拶とします。



就任のご挨拶

消防団伊野分団長
岩成 潤

本年より新たに伊野分団分団長を務めることとなりました中ノ手町内の岩成です。地区消防団が地元防災の要であることを肝に銘じ、火災、災害の防止に努めてまいりますのでどうかよろしくお願ひいたします。昨年度につきましては幸いにも伊野消防団としての災害出動はございませんでした。ひとえに地区の皆様方の災害予防のおかげでございます。皆様には引き続きのご協力と、合わせて消防団活動へのご理解をお願ひしたいと思ひます。
以上、簡単ではありますが就任の挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶

前消防団伊野分団長
佐藤 真一

昨年度末に伊野分団、消防団を退団しました。西地合町内の佐藤です。自分はこの伊野地区で消防団として20年間という月日を過ごす中で、楽しかったこと、苦しかったこと、数えきれないほどの思い出ができました。また、地元の方と交流することができ、いろいろな経験もさせていただきました。

昨今、消防団員の成り手が不足していますが、厳しさの中にも笑いがあり、楽しいと思ひます。皆さんも騙されたと思つて入団して見られても良いかと思ひます。
最後になりますが、20年という月日を支えてくださった地区の皆様には感謝しております。ありがとうございます。

御礼

山崎啓子さん(中ノ手町内)におかれましては平成29年度から令和2年度までの4年間、伊野児童館長として大変お世話になりました。ありがとうございました。

地域おこし協力隊

— 福島沙織さん連載 — 第6回

6月に入ってからの私は、寝ても覚めても梅のこと。昨年、伊野で出会った梅の実があまりにも素晴らしく立派で、「この梅を求める人が必ずいる！」と思ひ、伊野の梅を使った活動をすべく少しずつ準備を進めていました。伊野で教えてもらったレシピで仕込んだ梅干しは大好評で、今年はこの梅干しも増産したいと思ひていました。

「伊野の梅がほしいです！収穫して、購入させてください！」とあちこちで話していたところ、何人かの方から声をかけていただきました。話を聞くと、「去年たくさん梅干しを仕込んだから、今年は行先がない」とか「誰も採らないから、梅の実が落ちるのを待つばかり」といった声も聞こえて、ますますそれを収穫したい想ひが強くなりました。

あちこちで収穫させてもらった伊野の梅は、きれいにラッピングされて、出雲・松江だけでなく、東京など県外へも旅立っていました。伊野に住むママさんたちと梅のシロップづくりにも挑戦！さらに、出雲のカフェで梅干し作り会をしたり、某酒造会社から取引のご連絡をいただいたりと、思ひがけない展開に。

伊野の梅は、「地域で活用されていない、けれど宝物のような資源」のひとつだと思います。竹藪で採れるタケノコや、家の庭に実る枇杷の実、耕作されずに放棄された田畑も。それらを必要とする人が必ずいるので、つなげてあげることがもっとできたら、と思ひます。

今年、大切な梅をご提供くださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。来年もよろしくお願ひします。まだ家の庭に梅の実があるぞ〜という方、ぜひお声かけくださいませ。まだまだ大募集中です！



あちこちで喜ばれる伊野の梅たち

空き家活用プロジェクト～交流部会～ \たるみ庵からこんにちは/

いのっ子DIY ～壁塗りに挑戦！～ 5/22



いのっ子たちに空き家に親しんでもらおうと、子どもたちを対象にした壁塗り企画を開催。夢工房の皆さんに手ほどきを受けた子どもたちは珪藻土を使った壁塗りに挑戦！初めはぎこちなかった手つきも次第に慣れ、出来栄えに満足そうでした。

♪ 水無月 田舎の小さな音楽会 6/13

昨年のクリスマスコンサートに続き第2弾。趣ある古民家でフルートやギター、金管五重奏による演奏会が開催されました。本格ドリンクをいただきながら参加者一同、異空間に漂う素敵な音色に酔いしれていました。



筒井さんとゆかいな仲間たち

伊野ふるさと探訪 Part24

じゅうぜん 「十膳山」



つせぬ
出雲国風土記に都勢野山とあります。高さは193.6mで頂上に二等三角点があります。戦国時代には宮倉氏の居城があったそうです。また、現在は平成27年に地域が誇る観光スポットに認定され、東に大山、南に宍道湖、西に三瓶山と270度のパノラマを望むことが出来、地区内外からたくさんの方々を訪れる名所となっています。
(郷土誌研究会 常松 士郎氏)

伊野小学校 環境整備御礼 5/23



PTA主催による伊野小校庭の草取り、草刈りが行われ、多数のボランティアの参加がありました。翌週にはきれいになった校庭で親子運動会が開催され、元気ないのっ子の声が響いていました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

幻想的な光景に感動！ほたる観察会 6/19

上伊野農業再生プロジェクトと教育部会の共催で開催されたほたる観察会。金森のほたるロードに小学生の親子連れが多数訪れました。子どもたちは飛び交う蛍を捕まえてはおおはしゃぎ。豊かなこの伊野の自然をこれからも守っていききたいですね。



親子でピクニック 5/22 10家族 31名参加

～りんごん山と十膳山に登ろう！～

子どもの遊びを提供しようと教育部会がピクニックを企画。幼児や小学生を含む家族連れがりんごん山と十膳山の頂上を目指してピクニックにでかけました。外で食べるおにぎりは格別！合わせてふるまわれた猪汁は絶品！一同はお腹も心も満たされたようです。



ごみゼロ運動 ～きれいな伊野を目指して～

近頃、歩道や川沿いの草むらや茂みなどにペットボトルや空き缶などのゴミが散見しています。「ゴミを見つけたら拾う！ポイ捨てはしない！」みんなできれいな伊野を目指しましょう。



(環境保全連合会伊野支部)

ふるさとと広場花壇整備

多久和幸広さん(大畑町内)がご厚意でふるさと広場にマリーゴールドの苗を植えてくださり、花が咲き始めました。満開になるのが楽しみです。



コミセン事務所移転のお知らせ



伊野コミュニティセンターは耐震補強工事のため、6月1日からJA伊野店に事務所を移転しました。令和4年3月までコミセン館内および敷地内は全面立入禁止となります。コミセンにご用のある方は**仮事務所(JA伊野店)**へお越しください。なお、電話・FAX番号に変更はありません。